

観光デザイン学科は何をしている学科なのか？あまりピンと来ない学科である。そんな観光デザイン学科のことを徐々に知ってもらうために創刊されたのがこの「観光デザイン」



第二号

学校法人 大覚寺学園  
 KYOTO SAGA  
 京都嵯峨芸術大学  
<http://www.kyoto-saga.ac.jp>

発行  
 芸術学部  
 観光デザイン学科  
 〒616-8362  
 京都市右京区嵯峨五島町1番地  
 TEL 075-864-7858 (代)  
 FAX 075-881-7133

学科についての  
 ご質問等、お気軽に  
 お問い合わせください。

卒業生特集号  
 「社会で観光デザイナー活躍！」  
 いろいろな分野に挑戦する卒業生を紹介いたします。



卒業制作で制作した「魔都京都の文化財 魔界遺産」の表紙。 © Junya Kouno

である。観光デザイン学科は自然・文化・都市・人間と様々な要素が絡み合う地域や社会の問題にデザインからアプローチ。三つの学問領域を横断的に学ぶことで、情報収集から

企画立案、デザイン制作、プレゼンテーションといった「社会の現場」が求める技能と感性、そして「観光デザイン力」を身につける学科である。

そんな時、京都の一条商店街で「妖怪をテーマに商店

そこで、今回は観光デザイン学科を卒業し、社会で活躍する先輩たちの仕事を紹介したい。まず初めに紹介するのは、観光デザイン学科第一期卒業生の「観光デザイナー」となった河野隼也さん。彼は今、京都一条の大将軍商店街で妖怪をテーマに「妖怪意匠家」として町おこしをしている。

「大学入学の動機は、デザインの勉強はもってるん、もともと好きだった『妖怪』をテーマに文化研究もできると思ったから」と答えてくれた。ゼミはヘリテージツーリズムデザインを専攻。その中で「妖怪」は自分の生まれ育った京都の大切な文化であり、そこに人々の考え方や自然への畏敬に念が秘められているものと再認識した。そんな思いから、卒業制作では京都文化の中に垣間見える妖怪の伝説と歴史的分析論文をまとめた絵物語「魔界遺産」を発表。さらに研究をしたいと同大学院へ進学した。

「最近では商店街の魅力をより多くの人に伝えたいと思い、ホームページの制作やグッズデザインも手掛けています。『妖怪』という土着の題材の魅力を活かして『娯楽性を強調してプレゼンテーション』することにより、その地域特有の題材を生かした観光のスタイルを確立したいと考えています」と話す。イベントからものづくりに至るまで、まさに観光デザイナーといえる河野さんの活躍に今後も期待したい。



妖怪パレードの様子。テレビや新聞などのマスコミにも取り上げられ、毎年参加者も増え続けている。